

第9回

# アクサ ユネスコ協会 減災教育プログラム

2/11 (土) 減災教育フォーラム開催！！

## 参加者募集

公益社団法人日本ユネスコ協会連盟は、アクサ生命保険株式会社の協力を得て、地域の重要な防災・減災拠点となる学校の「防災・減災教育」を推進する標記事業を実施しています。

来たる2月11日(土)9:00より、「減災教育フォーラム～減災教育を地域に広げ、未来につなげるために～」  
を東京(同時にオンラインライブ配信)にて開催します。

防災・減災にどう取り組むべきか。災害の経験・教訓を踏まえた講演、パネルディスカッション、全国の被災地の学校の実践報告などを通して、学校と地域が協働し、災害から子どもたちの命を守り、生き抜く力を育むための減災教育を考えます。

つきましては、各ユ協・クラブの皆さまもご参加いただきますようお願い申し上げます。また、地域の学校や団体、企業様などへもご案内いただきますようお願い申し上げます。

会場参加、オンラインライブ配信視聴参加とも、事前にお申し込みが必要です。(2月8日締切) 詳細は別紙をご覧ください。

多くの皆さまにご参加いただき、本フォーラムが地域の減災を考えるきっかけとなり、そして、地域の学校がどのような活動をしているかお知り頂き、災害時に減災拠点となる学校と地域をつなぐご支援をいただけましたら幸いです。

2022年度 第9回

アクサ ユネスコ協会 減災教育プログラム

## 減災教育フォーラム

～減災教育を地域に広げ、未来につなげるために～



## 参加者募集

■日時: 2023年2月11日(土) 9:00～13:00

■会場: TKP 新橋カンファレンスセンター 15D ホール

※東京都千代田区内幸町 1-3-1 15F(新橋駅徒歩7分、内幸町駅徒歩1分)

■参加費: 無料

■定員: 70名(会場参加)

※当日はオンラインライブ配信(zoom)も行います。

配信視聴希望の方も事前にお申し込みください。

■対象者: 減災教育に興味・関心のある全国の教育関係者  
および NPO/NGO、企業、団体や一般の方 など

■申込方法: 事前申込制(会場参加・オンラインライブ配信視聴)

※右記お申し込みフォームよりお申し込みください)

■申込締切: 2023年2月8日(水)

※会場参加のお申し込みは先着順です。定員に達し次第締め切ります。

参加お申し込みは  
コチラ

または、

<https://forms.gle/ZuvEiu1uKLu1TDSw5>

※フォームよりお申し込みできない場合は、メールにてお問い合わせください。

MAIL: [gensai@unesco.or.jp](mailto:gensai@unesco.or.jp)

防災・減災にどう取り組むべきか。災害の経験・教訓を踏まえた講演、パネルディスカッション、全国の被災地の学校の実践報告などを通して、学校と地域が協働し、災害から子どもたちの命を守り、生き抜く力を育むための減災教育を考えます。

## プログラム

講演 安田 昌則氏(大牟田市教育委員会 前教育長、日本ユネスコ協会連盟理事)

## パネルディスカッション

テーマ:『減災教育を地域に広げ、未来につなげる～災害の教訓を減災教育の継続と発展にいかして～』

ファシリテーター: 及川 幸彦先生(奈良教育大学 准教授)

パネリスト: 大津山 光子氏(認定特定非営利活動法人 SEEDS Asia 事務局長)・安田 昌則氏

菅原 弘倫先生(気仙沼市立階上小学校 校長)・木幡 美幸氏(奈良教育大学・ユネスコクラブ)

コメンテーター: 上田 和孝先生(新潟大学 准教授、認定特定非営利活動法人 SEEDS Asia アドバイザー)

## 事例発表:『全国の減災の学びを自分たちの学校や地域に生かす』

①宮城県気仙沼高等学校(東日本大震災被災地域の学校)

②福岡県大牟田市立みなと小学校(令和2年豪雨災害被災地域の学校)

③三重県鳥羽市の学校(南海トラフ地震想定地域の学校)

全体総括 講師: 及川 幸彦先生

※内容は変更となる場合がございます。

- 主催: 公益社団法人日本ユネスコ協会連盟
- 共催: 気仙沼市教育委員会
- 協力: アクサ生命保険株式会社、奈良教育大学 ESD・SDGsセンター
- プログラム・コーディネーター/講師: 及川 幸彦先生(奈良教育大学 准教授)
- ファシリテーター/講師: 上田 和孝先生(新潟大学 准教授)
- ファシリテーター: 嵩倉 美帆氏  
(公益財団法人笹川平和財団海洋教育研究所 研究員)
- 研修協力: 認定特定非営利活動法人 SEEDS Asia
- 後援: 文部科学省

【お問い合わせ先】公益社団法人 日本ユネスコ協会連盟  
企画部教育支援課 減災教育担当MAIL: [gensai@unesco.or.jp](mailto:gensai@unesco.or.jp)

TEL: 03-5424-1121(平日 9:30～17:30)

本プログラムの詳細はホームページをご覧ください。

◆<https://www.unesco.or.jp/gensai/>(「ユネスコ 減災」で検索)

2022年度 第9回 「アクサ ユネスコ協会 減災教育プログラム」  
減災教育フォーラム 実施要項

公益社団法人  
日本ユネスコ協会連盟

- 開催日程： 減災教育フォーラム（公開） 2023年2月11日（土）9:00～13:00
- 開催場所： TKP 新橋カンファレンスセンター 15D （同時にオンラインライブ配信でも公開。）
- 目的： 本プログラム助成校や他校の減災教育に取り組む教員、減災教育に関心がある教育関係者やNPO/NGO、市民が、今後の減災教育の推進と持続発展に向けてさらなる学びと交流を相互に深める。
- 参加対象： 本プログラムの2022年度の助成校26校の教員および、減災教育に関心のある教職員など全国の教育関係者、NGO/NPO、企業、団体や一般の方など
- 主催： 公益社団法人日本ユネスコ協会連盟
- 共催： 気仙沼市教育委員会
- 協力： アクサ生命保険株式会社、奈良教育大学ESD・SDGsセンター
- プログラム・コーディネーター/講師： 及川 幸彦 先生（奈良教育大学 准教授、日本ユネスコ協会連盟理事、認定特定非営利活動法人SEEDS Asia 理事、ESD 円卓会議議長）
- 講師/ファシリテーター： 上田 和孝 先生（新潟大学工学部附属工学力教育センター 准教授、認定特定非営利活動法人SEEDS Asia アドバイザー）
- ファシリテーター： 嵩倉 美帆 氏（公益財団法人笹川平和財団 海洋政策研究所 海洋事業企画部 海洋教育チーム 研究員）
- 研修協力： 認定特定非営利活動法人SEEDS Asia
- 後援： 文部科学省

#### 【会場案内】

TKP 新橋カンファレンスセンター 15D ホール 〒110-0011 東京都千代田区内幸町1-3-1 幸ビルディング 15F  
(JR 新橋駅 日比谷口 徒歩7分 都営三田線 内幸町駅 A5出口 徒歩1分)



#### 【新型コロナウイルス感染対策について】

〈会場参加をご希望の方〉

- ①当日、発熱等体調不良の場合、参加を見送らせていただきます。
- ②減災教育フォーラム中は、マスクの着用にご協力をお願いいたします。
- ③会場ではできる限りの感染対策をとった運営を行います。参加者の皆さまにおかれましては、手指の消毒や検温等にご協力ください。
- ④新型コロナウイルス感染拡大の状況により、完全オンラインでの開催となる場合がございます。上記①～④につきまして予めご了承の上で参加くださいますようお願いいたします。

## 【減災教育フォーラム】～減災教育を地域に広げ、未来につなげる～

<2月11日(土)> 対象:2022年度の助成校26校、その他学校関係者、市民、NPO/NGOなど

※プログラム内容、会場、当日のスケジュール等に関しては、変更になる場合がございます。

※新型コロナウイルス感染拡大の状況により、完全オンラインでの実施となる場合がございます。

8:30	受付開始	・会場：TKP 新橋カンファレンスセンター 15D ホール (東京都千代田区内幸町1-3-1 幸ビルディング15F)
9:00	開会式	・主催者挨拶：鈴木佑司（公益社団法人日本ユネスコ協会連盟 理事長） ・協力企業挨拶：アクサ生命保険株式会社 ・文部科学省挨拶：堀尾多香氏（文部科学省 国際統括官付 国際統括官補佐）
9:20	プログラム①	講演 講師：安田昌則氏（大牟田市教育委員会 前教育長、日本ユネスコ協会連盟理事）
	休憩	
10:00	プログラム②	パネルディスカッション テーマ：「減災教育を地域に広げ、未来につなげる～災害の教訓を減災教育の継続と発展にいかして～」 ファシリテーター：及川幸彦先生 パネリスト：大津山光子氏（認定特定非営利活動法人 SEEDS Asia 事務局長） 安田昌則氏（大牟田市教育委員会 元教育長、日本ユネスコ協会連盟理事） 菅原弘倫先生（気仙沼市立階上小学校 校長） 木幡美幸氏（奈良教育大学1回生、ユネスコクラブ） コメンテーター：上田和孝先生 (1) パネリスト紹介 (2) 趣旨説明：及川幸彦先生 (3) パネリスト発表 ・大津山光子氏 ・菅原弘倫先生 (4) 質疑応答・ディスカッション (5) コメント：上田和孝先生（新潟大学 准教授、認定特定非営利活動法人 SEEDS Asia アドバイザー） (6) ファシリテーターによるまとめ：及川幸彦先生
	休憩	
11:40	プログラム③	事例発表「全国の減災の学びを自分たちの学校や地域にいかす」 ファシリテーター：嵩倉美帆氏 (1) 事例発表校紹介 (2) 事例発表 減災教育に取り組む、全国の被災地域の学校（本プログラム過去助成校）の実践事例発表 ①宮城県気仙沼高等学校（東日本大震災被災地域の学校） ②福岡県大牟田市立みなと小学校（令和2年豪雨災害被災地域の学校） ③三重県鳥羽市の学校（南海トラフ地震想定地域の学校） (3) 質疑応答 (4) ファシリテーターによるまとめ
12:45	総括	全体総括 講師：及川幸彦先生
13:00	閉会	